

しみず 40th

〒674-0074 明石市魚住町清水 630 番地の 1
(078) 947-1182 (代)

080-2450-2439 (40 回生用学年専用携帯)

2021=43×47

6 組担任 村上 正馬

あけましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。はじめに言うておきますが、題名と本文は全く関係ありません。今回は 2020 年の村上ニュースを話します。

昨年 2 月に結婚式を挙げました。このコロナの話題が出てくる少し前です。1 週間後くらいから国内の感染が広がり、あっという間に学校が臨時休校になりました。結婚式は無事行うことはできませんでしたが、新婚旅行には行けませんでした。海外に行こうと話をしていましたが、残念です。実は 1 年 1 組の生徒には結婚式の DVD をどっかのタイミングで見せようと思っていたんですが、できませんでした。残念です。4 月から 2 年 6 組の担任になりました。一回だけ集まった後はまた休校となり、人生初の学級通信も作りながら皆さんと会えるのを楽しみに待っていました。正直かなりつらかったです。やはり生徒と接しないとこの仕事は面白くないということ、そして「普通」ということが当たり前ではないということを実感しました。

分散登校ながら学校に生徒が来たときは本当に元気になりました。これからどうなるのかわからない、正解がわからない中でしたが、一生懸命頑張りました。この時にはもう新婚だということはもう吹っ飛んでいました。正直、結婚式がかなり昔に感じるくらい世界が変わった年だったんじゃないかなと思います。というかほとんどの人が 2020 年の変化にびっくりしているのではないのでしょうか。2021=43×47 年は平和な年になってほしいと願っています。来年一緒に卒業式をいい気分で迎えましょう！

人権映画鑑賞会

1 月 17 日、明石市立市民会館（アワーズホール）にて映画「コーチ・カーター」を鑑賞しました。

あらすじ：リッチモンド高校の弱小バスケットボール・チームに、新コーチ、カーターが赴任。厳格なカーターの指導のもと、高校生たちが葛藤、対立、失望を経て、プレイだけでなく生きていく力を身につけていく物語。

1 組

おもしろかった。めっちゃ弱かったチームが 16 連勝するくらいまで強くなったのがすごいなって思った。この映画を見て部活だけを頑張るのではなく勉強も両立して頑張らないといけないと思った。部活を通してメンバーがバスケの力だけでなく人としてのルールなども育てていたので自分ももっと成長しないといけないなと思えた。

2 組

コーチが最初に全員と契約を結んで、最後まで誰か一人を最優先することなく、自分の息子にも等しく接していて「自分のしたことに対して責任をもつ」という言葉の重みがより伝わりました。バラバ

ラだったメンバーが互いを信頼したり、仲間意識が生まれて統一されていっていることがすごく分かりやすい流れで、特に体育館が開放されても机などを持ち寄って自主的に勉強し始めるシーンはやっとな「1 つのチーム」になった感じがしてよかったです。作中で地域ごとの経済格差や学力格差、黒人差別の名残のようなものがみられて、15 年前の映画ではありますが、差別や格差の問題はすぐにはなくなるわけではないので、私 1 人の行動や声で世界中の問題を解決することはできませんが、身近な差別などに「それは違う」と声を上げられるようにしていきたいです。

3 組

今回の映画を見て、頑張る努力したら自分ができると思っていることができるようになるということがわかりました。あと「真の恐怖は自分の力を出せないこと」というセリフは色々なことを考えられるすばらしい考えだと思いました。アメリカの黒人差別は思った以上に大変そうだと、自分の置かれている環境はすばらしいことなど、色々人生について考えさせてくれる映画でした。

4 組

私はこの映画を見て改めて仲間の絆やあきらめない心を学びました。コーチのように一人一人と向き合い、その一生懸命さが彼らに伝わったからこそ、バラバラだったチームが 1 つになったんだと思います。そして彼らの将来まで考えて、いろいろな人から批判を受けても意志を曲げず指導していたコーチはとてもカッコ良かったです。そしてこの映画はそれだけではなく、「性」についても学べる映画だったなと思います。先のことを考えずに性行為をして、子どもが出来てからどうしようと困ってしまうといった例は、私達に一番関係があることだと思います。自分たちのことや子どものことをしっかり考えて行動しなければならぬと改めて思いました。また、米国の黒人差別についても少し知ることが出来ました。これからは黒人の問題のニュースにも耳を傾けていきたいです。

5 組

この映画を見て思ったことは、大人数の意見が必ずしも正しいわけではないということだ。監督と保護者達が裁判をしているところの意見は、どちらの意見もしっかりと筋が通っていた。だから、やっぱり正義の反対はもう一つの正義なんだなと思った。

6 組

この映画を観てとてもかっこいいなと思いました。コーチが変わって、最初の練習は走ってばかりだったけど、少しでも遅刻してしまったら他の人よりも多く走らなければいけないし、勉強もしっかりしないといけないので、とてもしんどそうでしたがそのおかげで試合に勝つことができずいいなと思いました。また、相手がどうあれ、人を敬うことが大切だということを感じました。コーチのやり方に疑問を抱く部分もありましたが、生徒の卒業後のことも考えていたことに感動しました。私も仲間を敬い、協力しながら今後も頑張っていきたいと思いました。

7 組

バスケで勝つための技術を指導するだけでなく、これからの社会で生きていくため、生徒のためにというカーターコーチの考え方に感動しました。普通コーチならバスケだけを教える立場なのに、後々のことも考えて指導された、生徒思いなカーターコーチの感動。あと一人のために残りのトレーニングをチームのみんながするのを見ると助け合っているいいなと感じました。「みんなは一人のため、一人はみんなのため」この言葉が一番心に響いた気がします。はじめはどんな映画なんだろうと思っていましたが、見てみると自分のことに置き換えて鑑賞することができました。人権から見ても、部活動の視点から見ても心に響く話でした。もう一度見てみたいです。

8組

すごく面白かった。普通にバスケ上手いし、最弱チームが1人のコーチと出会って強くなり試合に勝つところが感動した。やっぱりバスケ見るのは楽しいなあって思った。個人的には3番の人が推し（笑）カーターがバスケの技術を教えるよりも先に選手たちと契約を交わす。最初は「なんで？」って思ったけど、カーターの考えが分かった時にすごい指導者だなと思った。規律を守ることが勝利につながるのだと理解した時に自分はまだまだバスケに集中できていないなと気づくことができた。こんなコーチがいれば誰もが付いていき尊敬するだろうと思った。勝利することも大事だけどその前に人間としてちゃんとした人になり、学校生活を大事にし、チームのために努力すること。そしてバスケをする人に対して敬意を示すことが必要だと感じた。今の自分は何もかも中途半端だから、1つ1つちゃんとしようと思った。バスケを通じて良い大人になれるように頑張ろうと思う。

学年球技大会

12月18日、2学年でクラス対抗球技大会を実施しました。種目は、フットサル、バレーボール、ドッジビーでした。

総合優勝 7組 2位 6組 3位 4組

入試と時事ニュース

これからの入試では時事問題からの出題が増えそうです。日頃からアンテナを張っておきましょう。

<2020年に話題になった時事キーワード>

新型コロナウイルス	「富岳」世界一	オリンピック延期
ブラック・ライブズ・マター	アメリカ大統領選	
イギリス EUから正式離脱	香港国家安全維持法	
探査機「はやぶさ」帰還		

では、これらのことについて入試でどのように問われるのでしょうか。たとえば、新型コロナウイルスに関連して、世界史なら14世紀のペストの流行、日本史なら平安時代の疫病流行と祇園祭の始まりなど出題されるかもしれません。

今後の予定

1月12日（火）	課題考査（1限 英語 2限 数学 3限 国語） 4・5限 授業 6限 LHR
18日（月）	学年レクレーション大会（6・7限）
20日（水）	教室ワックスがけ（放課後）1, 3, 5, 7組
22日（金）	教室ワックスがけ（放課後）2, 4, 6, 8組
24日（日）	英語検定1次
28日（木）	漢字検定
2月 6日（土）	進研マーク模試・進路マップ・看護医療模試・公務員模試 予備日：2月7日（日）

教育相談日：1月15日（金）、22日（金）、29日（金）、2月5日（金）